

平成29年度第2回花巻市子ども・子育て会議 会議録

日 時 平成30年2月19日（月）午前10時から午前11時23分まで
場 所 花巻市石鳥谷総合支所 3階 大会議室
出席委員 久保田武司委員、高橋和也委員、山田由美子委員、佐々木美由紀委員、佐藤正昭委員、照井義彦委員、佐藤勤委員、牛崎恵理子委員、新田光子委員、瀬川和子委員、中村良則委員、打田修子委員（12名）
欠席委員 佐藤良介委員、本宮信也委員、菊池由可利委員、晴山めぐみ委員、内村悦子委員、鎌田文聰委員
市出席者 佐藤教育長、布臺教育部長、高橋こども課長、松原課長補佐、藤田保育管理係長、佐々木就学養育係長、藤村子育て支援係長、高橋上席主任、菊地主事
関係各課 スポーツ振興課高橋課長補佐、花巻図書館晴山副館長、地域福祉課吉田係長、障がい福祉課藤井課長補佐、健康づくり課藤田課長補佐、蟹澤係長、市民生活相談センター伊藤所長、小中学校課沼田課長、生涯学習課藤村上席主任、地域医療対策室小松主査

辞令交付 高橋こども課長より打田修子委員へ辞令書手交

1 開 会 こども課松原課長補佐

2 あいさつ [教育長が所用により遅れることから後程とする]

3 議 事

(1) イーハトープ花巻子育て応援プランの実施状況等について

[藤村係長より資料1について説明]

[質疑]

(高橋委員)

No.98、99について、H31の目標値を上方修正したとお聞きしたように思うのですが、聞き間違いでしたでしょうか。

(藤村係長)

私の説明の仕方が悪く申し訳ございません。No.98からNo.100までの事業でございますけれども、H29の目標値よりもH31の目標値が下回っているという形に見えますけれども、H31の目標値を低く設定している訳ではなく、基本的な目標値は75%であるものの、単年度の目標としてはこれをさらに一段階上回る数値を設定して活動しているということで、指標を見直すというものではございません。

(中村会長)

No.86の子育て応援の店普及拡大について、125店に拡大を目標にしていますが、実際はコンビニの閉店などにより減っているということで、減らす必要は無いかもしれませんが、実際には難しいと感じますがどうでしょうか。

(藤村係長)

最終目標が125店となっておりますが、現時点では115店となっております。こちらの事業については県で実施している事業ということもあり、見直し等については県の担

当者と協議したうえで次回の会議でご報告できればと思います。

(打田委員)

資料No.の98、99。パーセンテージでは今報告があったんですけども、結構ケース的に多いような気がするんですが、パーセンテージだけではなく、その後解決に至ってるんでしょうか。そのまま継続でのパーセンテージなんでしょうか。

(地域福祉課 吉田係長)

地域福祉課の吉田と申します。No.98と99につきましてはこのパーセンテージは解決に至った、又は解決に向けて方向性が見えたケースの割合となっておりますので、残されたのは解決に至っていない分と解釈していただければと思います。

(久保田委員)

No.65ですけども、学校給食の地産地消推進事業の事業内容で「花巻の県内産の野菜などを」と書いてありますけれど、実際の実績では「市内のリンゴ、雑穀の提供」となっています。ここに野菜が入っていないのはどういう理由でしょうか。

(小中学校課 沼田課長)

代表的な部分を実績として出しております。野菜についても積極的に取り入れるということで取り組んでおります。

(中村会長)

野菜についても取り入れているということによろしいですね。

(小中学校課 沼田課長)

はい。野菜等についても積極的に地産地消ということで取り組んでおります。

こちらの資料には代表的な物としてリンゴや雑穀を記載したところです。

(久保田委員)

No.22の幼稚園における子育て支援活動事業について、目標の方で公立・私立と分けておりますけど、公立の方は無しとなっているのはなぜでしょうか。

(佐々木係長)

公立幼稚園につきましては、近くにこどもセンターがあるということで、そちらの利用を呼び掛けながら子育て支援の対応をしております。しかしながら、幼稚園の保護者等から相談があった場合は随時相談に応じており、これからもこどもセンター等と連携を図りながら子育て支援に努めてまいりたいと考えております。

(中村会長)

No.62と63ですけども、No.62の講座は実績が目標に達しないのは母親等が就労等で難しいからということで、パパママ教室についてもお父さんの参加が難しいということかと思いますが、No.63の食育講座については目標を上回っていて人数も増えているということですが、そうすると食育の方はお父さんやお母さんだけではないということでしょうか。

(健康づくり課 藤田課長補佐)

No.63の食育講座ですけども、「食べてはなまる」というタイトルで栄養士が健康講座を開催しているのですが、内容としては調理実習とかをしており、募集をしたうえで実施しているものであり、H29については幼稚園・保育園・学童クラブ・小学校・中学校・高校・成人まで幅広い対象としております。

(2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員等について

〔藤村係長より資料2について説明〕

(佐藤委員)

内川目保育園の閉園について、来年度新たな入所希望が無いということでしたが、これは対象となる年齢のお子さんがいらっしやらないのか、それとも他の園への入所を希望されているものなのか、わかる範囲でお教えいただきたい。

(高橋課長)

1月段階で内川目小学校区に5歳未満のお子さんが全体で20名いらっしやることを把握しています。そのうち、内川目保育園をご利用されている方が7名、そのほかの保育園をご利用されている方が4名となっており、残りの9名の方は自宅保育等という状況となっております。先ほど申し上げた内川目保育園をご利用されている方7名のうち5歳のお子さん3名が本年度末に卒園されますと、残りが4名ということになります。この4名の方々につきましては、4名では集団での活動面で心配があるというご意見があり、結論を申しますと4名全員が大迫保育園をご利用されるということになりました。また、今現在保育園を利用されていない9名の方々につきましては、来年度以降の保育園利用、特にも内川目保育園の利用希望があるかどうか個別にお聞きしましたところ、内川目保育園の利用希望はなかったところです。

(打田委員)

資料No.2-2の2番、花巻保育園さんの関係が1点、2-2の2番に書いてある内訳として、0歳で15名がゼロ、1歳から5歳で12名で変更なしとして、次、2-3のところの現在10月1日時点では人数がここに明記されてはいるんですけど、転園されるんですか。34年までにこの人数に変更になる。結局は閉園されるのでゼロになると思うんですけども、その間に転園される場合、これだけ待機児童増えていて、まあ、3歳以上ってのは多分入所できるのかなと思うんですけど、その子どもたちは今回転園の希望したところに入所できたんでしょうか。あともうひとつ、待機児童がこうやって増えているなか、花巻市としての出生率というのをお聞かせいただきたい。何年かでパーセントで把握していらっしやるのであれば、今待機児童がいるということで新しく小規模さんが建てられているところなんですけれども、今は待機児童がいて4月でも0歳児が50人ほどの待機児童だということを小耳に挟んだんですけども、その中、やっぱり年度を重ねるごとに確実に少子化ってのは言われてはいるんですけど、その出生率の部分を含めながら花巻市としてはどのようにかんがえているのかということをお聞かせいただきたい。

(藤村係長)

私の方から花巻保育園の定員の部分についてご説明させていただきます。ご質問の内容が今回定員を減らす0歳児の部分、あと今いるお子さんの転園についてのご質問かと思えますけれども、これにつきましては、まずは来年度の定員の変更という部分でございます。段階的には更に定員の変更があるかとは思いますが、まずは来年度からは0歳児について受け入れをしないというもので、今いるお子さんを卒園させてから閉園したいという申し出があったことから、今回0歳児の定員を変更するものでございます。

(高橋課長)

補足といたしまして、花巻保育園さんにつきましては今現在お預かりしていただいている子どもさんについて0歳の方が5歳になるまで、つまりは平成34年までは自園で卒園をさせたいというお考えから、段階的には定員を減らしているという計画であるが、今いるお子さんを転園させるというお考えは無いと伺っております。

(健康づくり課 蟹澤係長)

出生率についてですが、平成25年は6.9%、平成26年は6.8%、平成27年においては6.6%となっております。これは人口千対ということで出された率で、減少しております。

(高橋課長)

先ほど委員さんからお話のありました4月段階での待機児童の見込みでございますが、これにつきましては受入れの方で3歳未満のお子さんについて不足する見込みであり、4月段階で小規模2箇所が新たに設置する予定であります。それでもまだ足りない部分があると捉えております。ただ、今段階でも申し込み、あるいは幼稚園を含めたご利用等についてもお考えの部分もございますので、まだ動く可能性がございます。従いまして、人数的な部分については現段階で具体にご説明することは難しい状況でございます。

(打田委員)

小規模を新たに設置されて、今年度、子育て支援員研修というのを花巻市で行われまして、子育て支援員になるとみなし保育士ということで加算になるということだったんですが、これは花巻市で行われた事業でしたので花巻市ではその方々を把握していると思います。ただ、個人情報があるので私たちにはその方々が分からない。でも、みなしになるのであれば子育て支援員の方を雇用したいと思っても、どこからも、ハローワークで求人を出すしかないんです。でも、花巻市とすれば個人情報だとはいえ、誰が研修したか分かっていると思うんです。そうするとお話ししやすいのかなってそう思ったりしたところもありました。それに加えると花巻市の公立園の臨時の方々、今回うちの方に花巻市の臨時の方が臨時をお辞めになって、うちの園に雇用することになったんですけれども、かなりの圧を掛けられたっていうふうに、辞めないでこのまま公立の臨時だけでもっていうふうに結構言われて辞められなかったっていうふうな話も聞かされました。まあ、決めるのはその本人なので何とも言いようはないんですけれども、私たちとすると、手だてが無いというわけではないんですけれども、やっぱりハローワークさんを中心として、あとは本当に人伝えで働きたいという方を血眼になって探して、それでもいらっしゃらなくてっていうところを、例えば移管になりましたよ、そしたら臨時の保育士はこちらに、どうしてもどうしてもという風に言われたら公立の保育士はちゃんと人数を確保できるっていう状態になっちゃいますよね。そういうことから、子育て支援員の方々の誰が受けられたかということが分からず、ちょっと苦労したというところなんです。

(中村会長)

それは、保育をするには保育士を確保する必要があると思いますし、各保育園では子どもの数に応じて保育士を確保するために、そういった仕組みがあっているのではないかとこのお話でよろしいですね。

(高橋課長)

二点の質問とお聞きしました。一つは子育て支援員研修ということで、今年度当市で行いまして、12名の方に研修していただいたところです。その研修を受けられた方につきましては保育所の中でも小規模保育のB・Cという保育士が半分、残り半分が子育て支援員の方で運営できるという形態がございますが、そういった部分での就労への結びつき、あるいは学童クラブにおける活動ということもあり得るわけです。ただ、この方々につきましては今すぐではなく将来的にそういった道に進みたいという希望の方もいらっしゃいました。ただ、ご本人さんのご希望については伺っておりましたので、市内の保育所や学童クラブで従事したいという本人さんからのご希望がありましたら、それについてのマッチングはできるかと考えておりますので、その部分についてはご相談いただければと思います。それからもう一つの保育士についてですが、保育士不足については待機児童の部分に大きく関わる部分でございます。一つは施設のキャパの問題、それから実際に施設があっても預かるための人の体制が不足という問題、保育士の確保については法人さんも公立でも花巻市全体として大きな悩みどころであります。そうした中、本年度の取り組みとして保育士資格をお持ちの方で現在保育の現場に携わっていない方々の掘り起こしについて考えました。具体的に申し上げますと、そういった方々に現場の方に復帰していただけないかということで登録制度を設けました。現在15名程度だったと思っておりますが、その中で4名程度に方々については復職していただいたということもございます。今後もそういった保育士確保について色々な手立てを講じて参りたいと思っております。それから、当然ではありますが新卒の学生さんという部分では県内の養成校にそれぞれ伺いまして、担当の教員の方、あるいは直接学生さんにも市の保育の状況等をお知らせしながら花巻市内の保育施設への就職について働きかけております。

(中村会長)

人の確保というのは大変難しいことだと思います。働きたい人と働いてもらいたい側の解釈の問題もあろうかと思えます。またハローワークを含めた各機関の連携も重要だと思います。

(山田委員)

資料2-2の平成30年度以降の保育施設整備の動きということで、市内の社会福祉法人で開所準備中の施設について、どんな場所でどんな施設ができるのか分かれば教えていただきたい。

(高橋課長)

今はまだ相談段階ですので、具体については控えさせて頂きたいと思っておりますが、保育需要のある旧花巻地域における創設又は増設というものでございます。場所ですが花北地域で一か所増設の予定がございます、又、花巻の中心地域で増設のご相談がございます。そして創設としてご相談されているのが同じく花巻中心部でございますが、こちらについてはあるいは認定こども園という形での設置になる可能性もございます。小規模保育施設ですが、平成31年度の開所予定としておりますが、実際には平成32年4月スタートになるかと思っております。平成31年度は整備期間ということになります。こちらについては花北地域で開所準備中でございます。

4 その他

(松原補佐)

その他ということで、皆様から何かございますでしょうか。

(山田委員)

会議の案内について、大変申し訳ないのですが、園の行事等の関係があるので、年間の計画があれば年度の最初に、そうでなければ1ヶ月半以上前とかにお願いできないものでしょうか。

(打田委員)

案内もそうだと思うのですが、この資料についてもこの場において見て、会議ですよ。報告会ではないですよ。会議なので、事前に見て、ああ、これはこうなんだなって考えてここに臨むのが会議ではないかなと、ただの報告を受けただけで終わる会議ではないと思いますので、事前にはいただければと思います。前は事前にいただいていたのですが、今回はこちらに来てからだったので事前にはいただければと思います。

(高橋課長)

大変申し訳ございません。ご案内の方は早めにとということで心がけたいと思います。それから資料につきましては事前にお送りさせて頂いているのですが、お送りしたのが先週末ということで、委員さんご多忙の中、あまり時間の無い中で見て頂くという日程になりまして大変申し訳ございません。今後は余裕を持って進めさせて頂きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(松原補佐)

その他に皆様方からございますでしょうか。無ければこども課長から今後の会議の開催予定についてご説明いたします。

(高橋課長)

次回の予定でございますが、本年度の反省も含めまして、1回目の会議を6月頃に予定したいと考えております。あるいは、現在年2回ということで開催いたしておりますが、2回分の会議の予定日というものを年度初めにお知らせするとゆうようなこととも必要かと考えております。特に1回目でございますが、内容につきましてはイーハトーブ花巻子育て応援プランの主要107事業でございますが、今回につきましては見込みということで申し上げましたが、平成29年度の実績の部分、また、平成30年度の目標でありますとか、あるいはその事業の指標の見直しが必要な部分があればご協議とご報告をさせて頂ければと思います。また、先ほど申し上げました平成31年度に向けまして新たに保育施設等の整備が予定されており、今後確保見込みの数値も変わってまいります。そういった見込みの部分についてももう少し詳しくご説明し、ご協議頂ければと考えております。本日はお忙しいところご協議頂きありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

2 あいさつ 佐藤教育長

本日は主催者が遅れてしまい大変失礼いたしました。

今日はお忙しい中、長時間に亘って、大変ボリュームの多い内容について沢山のご意

見・ご協議を頂きありがとうございます。

この事業計画は平成27年にスタートし、3年目ということで今が一番大事な時期かと思えます。ただ、その一方、スタートしてから予想もできなかった社会の変化とか、あるいはニーズ、そういったものについても確実に変わってきている部分があり、その都度修正していかなければならないと思っております。

この会議自体は、その年度ごとの、あるいは状況における取組について、107事業に亘ってチェックして頂いて、沢山のご意見を賜り、出来るだけ敏速に次年度に反映していくための会議でございますので、今日頂いたご意見につきましては大変ありがとうございますし、その内容については早速検討してまいりたいと思っております。

今、会議の持ち方もそうですし、遅れてご迷惑をおかけしましたけれども、どうしても会議の席でなければ伺えない意見もありますことから、皆さまそれぞれ子育て支援の第一線の現場に立っていらっしゃるということでございます。従いまして、それぞれに入った疑問とか情報につきましては、いつでも私どもにご提供いただき、出来るだけ現場を支えられるよう努めて参りたいと考えておりますので、ご遠慮なさらずにお問合せ、情報提供についてこれからもよろしくお願いいたします。

今日はお忙しい中、長時間に亘りましてご協議頂き誠にありがとうございました。今度ともどうぞよろしくお願いいたします。

5 閉 会 松原課長補佐

以上をもちまして平成29年度第2回花巻市子ども・子育て会議の一切を終了します。